

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月9日

【評価実施概要】

事業所番号	1270201203
法人名	医療法人社団 鳳雄会
事業所名	グループホーム・ゆうゆう
所在地	千葉県花見川区犢橋町12番地3 (電話) 043-216-7211

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成21年3月28日	評価確定日	平成21年4月24日

【情報提供票より】平成21年3月3日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	23 人	常勤	6人, 非常勤 17人, 常勤換算 9.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	23,000 円	
敷金	有() 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(280,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	500 円
	夕食	650 円	おやつ	200 円
	または1日当たり		1,700円	

(4) 利用者の概要(3月3日 現在)

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	11 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.7 歳	最低	70 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 鳳雄会
---------	------------

株式会社 日本ビジネスシステム

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑と畑に囲まれたのどかな環境の中「グループホームゆうゆう」がある。施設内は全面バリアフリーとなっており、廊下・トイレ・浴室等は十分な介助スペースが確保され、入居者の安全面に配慮している。食事と入浴が暮らしの中で重要であると考えており、食事においては、旬の食材・産地直送の米の使用や器・盛り付けの工夫により、楽しい食卓作りに取り組んでいる。また、浴室は広く設計され、鉱泉を使用しており、快適な入浴を支援している。近隣に法人系列の老人保健施設があり、必要に応じて看護師・理学療法士・言語聴覚士・栄養士・医師等と相談・連携ができる体制が構築されており、入居者のニーズに合わせた柔軟な支援が行なわれていると共に、合同行事や日頃の交流が行われており、入居者の生活の活性化を図っている。職員は入居者とのコミュニケーションを大切にしており、笑いを交えた会話を重ねながら、共に信頼しあう関係を築いている。個性溢れる職員が揃っており、入居者の安全で安心した生活が送れるグループホームを目指して、前向きに取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価にて、指摘事項は挙がらなかったが、家族からの意見を参考に独自に改善課題を挙げ、サービスの質の向上に向け取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価においては、職員全員で意見を出し合い、管理者がまとめ、作成している。職員全員が外部評価の意義を理解し、業務の改善の為、前向きに取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	町内会長・地域住民・家族・職員を構成員として、6ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。会議では、施設活動や行事の報告を行ない、施設理解の促進を図ると共に、意見・情報交換を行い、サービスの質の向上に繋げている。また、運営推進会議を活用し、緊急時・災害時等の協力の呼びかけを行っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	意見箱や苦情や相談窓口を設置していると共に、家族の面会時や電話連絡時に直接意見・要望等を確認している。挙げた意見や要望等においては、職員会議にて周知・検討を行い、適切な対応に努めている。家族会を設置しており、積極的に意見・情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている。また、家族会用の掲示板を設置し、家族からの意見・要望等を周知している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	散歩等の外出時に近隣住民とは挨拶を交わす関係が築かれていると共に、ご好意により農作物等をおすそ分けして頂く事もある。自治会の行事に積極的に参加していると共に、施設行事の時には、地域住民を招待し、地域との交流を図っている。また、家族やボランティアの来訪が多く、入居者は様々な人達とのふれあいを楽しんでいる。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	”ゆとりを持って、やさしく触れ合う里づくり”という事業所独自の理念を掲げている。また、介護職員の心構えや運営方針を掲げ、本人らしく安心して生活できるよう取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定期的に行なわれる職員会議にて、毎回理念を議題に取り上げ、職員に対して理念の確認を行なっている。また、新人研修の際に理念の説明を行っている。理念を事業所内に掲示すると共に、ホームページにも理念を掲載し、家族・地域住民等の施設に関わる方々に周知している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩等の外出時に近隣住民とは挨拶を交わす関係が築かれていると共に、ご好意により農作物等をおすそ分けして頂く事もある。自治会の行事に積極的に参加していると共に、施設行事の時には、地域住民を招待し、地域との交流を図っている。また、家族やボランティアの来訪が多く、入居者は様々な人達とのふれあいを楽しんでいる。		
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価にて、指摘事項は挙がらなかったが、家族からの意見を参考に独自に改善課題を挙げ、サービスの質の向上に向け取り組んでいる。今回の自己評価においては、職員全員で意見を出し合い、管理者がまとめ、作成している。職員全員が外部評価の意義を理解し、業務の改善の為、前向きに取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長・地域住民・家族・職員を構成員として、6ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。会議では、施設活動や行事の報告を行ない、施設理解の促進を図ると共に、意見・情報交換を行い、サービスの質の向上に繋げている。また、運営推進会議を活用し、緊急時・災害時等の協力の呼びかけを行っている。		

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人の副理事長が県会議員であり行政と連携を取れる立場にある。また、千葉市グループホーム協会の役員であり、協会を通じて市との連携を密に行っている。市に対して、業務全般における相談や連絡等を随時行ない、連携を図ると共に、市役所等にパンフレットを設置してもらう等の協力も得ている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に入居者の生活状況等を報告していると共に、事業所の季刊誌「ゆうゆう便」を定期的に送付し、行事報告・案内や施設からのお知らせを連絡している。また、必要時には、随時、電話にて連絡をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱や苦情や相談窓口を設置していると共に、家族の面会時や電話連絡時に直接意見・要望を確認している。挙げた意見や要望等においては、職員会議にて周知・検討を行い、適切な対応に努めている。家族会を設置しており、積極的に意見・情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている。また、家族会用の掲示板を設置し、家族からの意見・要望等を周知している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や入退職があった場合には、家族会にて報告を行っている。入職があった場合には、慣れた職員と一緒に業務を行い、入居者とコミュニケーションが取れるように配慮し、馴染みの関係が築けるよう努めている。職員控室が2箇所あり、適宜休憩が取れるように配慮されており、職員のストレス軽減を図ると共に、経営者も交えた親睦会を開いており、職員への楽しみの提供や幹部職員との交流を行い、働きやすい職場作りに努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修や千葉市グループホーム協会にて開かれる勉強会においては、希望に応じて参加を促している。必要なマニュアルを整備していると共に、内部研修を定期的に行い職員の質の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉市グループホーム協会の役員を務めており、協会にて行なわれる研修会や意見・情報交換会等に参加し、相互の質の向上に努めている。また、施設行事に近隣のグループホームと相互に招待し合い、職員・入居者間の交流も図っている。法人系列の老人保健施設とは、行事や日頃の交流にて親交を深めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や相談等を随時受け付けていると共に、希望に応じて体験入居を実施し、施設の雰囲気や方針を理解してから入居を勧めている。入居後は本人・家族の意向を汲み取りながら、入居者に合わせた支援を行ない、時間を掛けて施設に馴染んでもらうよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の能力や希望に応じて家事等の生活活動を共同で行っている。職員は入居者から礼儀作法や生活の知恵を学ぶと共に、感謝の言葉に癒しややりがいを得ており、共に支え合う関係を築いている。また、行事等にて、家族からの協力を得ており、家族とも支え合う関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人・家族から意向や生活歴等を確認し、記録している。入居後は、日々の観察や職員の気付き等の情報を日誌・経過表・申し送りノートに記録している。また、入居者の情報を申し送り・回覧し、職員全員へ周知しており、ユニット間で情報を共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画においては、職員会議にて話し合い、計画作成担当者が作成している。また、日頃から家族の意向や要望等を確認し、本人・家族の意向に沿った介護計画の作成に努めている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月に1回、介護計画の見直しを行っている。また、生活状況に変化があった場合や必要時には、随時見直しを行なっている。見直しにおいては、会議にて職員全員が意見・情報を出し合い、計画作成担当者が介護計画を作成している。家族の意向・要望等を随時確認し、本人・家族の意向に沿った介護計画の作成に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の希望に応じて、買い物や外出等を実施し、柔軟に対応している。訪問理美容や馴染みの美容室への付き添いを実施し、身だしなみの支援も行っている。法人系列の老人保健施設が近隣にあり、必要に応じて看護師・理学療法士・言語聴覚士・栄養士・医師等と相談・連携ができる体制が構築されており、入居者のニーズに合わせた柔軟な支援が行なわれている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも希望のかかりつけ医への受診が可能となっている。定期的に歯科・内科往診が行われており、適切な医療支援を行なっている。また、法人系列の老人保健施設との連携により、手厚い健康管理・栄養管理が行なわれている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期・重度化における施設の方針や対応方法を契約時に口頭にて説明していると共に、家族会を通じて施設方針等を確認し、家族の了承を得ている。また、終末期における家族の意向を随時確認している。重度化した場合には、家族等の関係者と相談をしながら、協力病院や法人系列施設等と連携を取り、本人・家族の意向に沿った終末期を支援している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人書類においては、事務所の書庫に保管し、個人情報の保護を図っている。接遇においては、介護職員の心構えを掲げ、入居者の尊厳の尊重に取り組んでいる。また、その人に合った言葉掛け・対応により、プライバシーを損ねないよう努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課を大まかに定めているが、入居者のペースや希望に合わせて柔軟に対応している。希望が言い出せない入居者に対しては、コミュニケーションを多く取り、会話や表情の中から希望を汲み取るよう努めている。		

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備・調理等は個々の能力に応じて共同で行っている。献立作成・食材の買出しにおいては、入居者と一緒に行い、希望や嗜好に合わせた食卓作りに努めている。食事は暮らしの中で最も大切なものと考えており、旬の食材や農家から直接購入した米の使用・器や盛り付けの工夫を行うと共に、バーベキュー・外食・行事での特別食の提供等を実施し、様々な食の楽しみを提供している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	風呂には鉱泉を使用していると共に、浴室は広く、大きな窓から景色が眺める事が出来、開放的な造りとなっている。また、脱衣所には、呼び出しブザー・床暖房・トイレが設置され安全で快適な入浴ができるよう工夫されている。入浴は毎日実施されており、希望に応じて回数や時間等柔軟に対応している。入浴拒否に対しては、その人に合った声掛けや対応により、無理の無い入浴を支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の希望に応じて、塗り絵・習字・歌・ゲーム等のレクリエーションを実施し、楽しみや気晴らしを支援している。また、ピアノ・囲碁・麻雀等の趣味活動も支援している。施設行事を定期的に行うと共に、他施設の行事・地域行事にも積極的に参加し、入居者の生活の活性化を図っている。その他にも嗜好品の提供が可能となっており、入居者の生活歴に配慮したサービスを提供している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日、散歩を習慣として実施していると共に、希望に応じて、買い物やドライブ等を行なっている。外食会や外出会を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。施設内にあるウッドデッキや駐車場にて、日なたぼっこ・お茶飲み・談話等を行ない、気軽に外の空気を楽しめるよう支援している。また、近隣の老人保健施設のレクリエーションへの参加や喫茶店でのお茶飲みを実施し、入居者は外部との交流を楽しんでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に施錠せず、入居者の自由な生活を支援している。施設は、事務所からは玄関に目が行き届く設計となっていると共に、音楽が流れるセンサーを玄関に設置しており、入居者の安全を確保している。入居者が外に出た場合には、声掛けや見守りに対応し、束縛しないよう配慮している。		

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力のもと、年2回消防・避難訓練を実施していると共に、定期的に消防署の立ち入り検査を受けている。避難経路図や災害時・緊急時対応マニュアルを整備し、職員全員に教育を徹底している。倉庫に食料を保管しており、災害時の備蓄として確保している。また、毎日、火元の点検を行い、火災の予防に努めている。近隣の老人保健施設や養護施設との連携により、緊急時・災害時の協力体制が構築されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嗜好や能力に応じた食事提供がなされていると共に、食事・水分の摂取量を記録している。摂取量の不足においては、食べやすい物や好きな物を提供し、必要な栄養の確保に努めている。また、必要に応じて、法人内の医師や栄養士に相談し、適切な栄養管理を行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設の周りには、畑や緑が広がり、季節を感じながらゆっくりと過ごせる環境となっている。施設内は全面バリアフリーとなっており、廊下・トイレ・浴室等は十分な介助スペースが確保され、入居者の安全面に配慮している。天窓があり、日当たりも良く、明るく開放的な造りとなっている。リビングには、ソファ・テーブルが置かれ、入居者が思い思いにくつろげるよう配慮している。また、ユニット間の仕切りを外す事が可能となっており、ユニット合同で行事を行えるよう工夫されている。リビングの隣には静養室があり、入居者の体調不良や急変時に柔軟な対応ができるようになっている。ウッドデッキには椅子やテーブルが置かれ、お茶飲みや談話の場として活用されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望により馴染みの物を自由に持ち込むことが可能となっていると共に、生活歴に応じて布団とベッドを選択できるようになっており、入居者が居心地良く生活ができるよう配慮している。全居室にエアコンが設置され、職員の操作により適切な空調管理がなされている。		